2026年10月5-11日

55番の歌 恐れてはいけない！

エホバとイエスを信じてサタンに勝つ

「*悪魔に立ち向かってください。そうすれば，悪魔は逃げ去ります*」。ヤコブ 4:7

ポイント：サタンはずっと，エホバとイエスへの不信感を持たせようとしてきました。どうしたらその手に乗らずに済むでしょうか。

1. サタンはどんな手を使って私たちをエホバから引き離そうとしてきますか。

私たちにはしつこい敵がいます。サタンと邪悪な天使たちです。サタンは，私たちがエホバから離れることを願っています。でも，バックにエホバがいる限り，勝ち目はないと分かっています。それでサタンは私たちに，エホバとイエスは愛してくれていないと思わせようとしてきます。そういう疑いの気持ちが，エホバとの友情を駄目にすることをよく知っています。（コリ二 11:14 それも不思議ではありません。**サタンが光の使いに成り済ましている**からです。ヤコ 1:6 ただし，**少しも疑わず，信仰を持って求め続けなければ**なりません。**疑う人**は，風に吹かれて**揺れ動く海の波のよう**です。）

2. エホバとイエスを心から信じて付いていくことは大切です。どうしてですか。

2 兵士が戦いに勝つためには，司令官を信じて付いていくことがどうしても必要です。司令官を信頼せず勝手な行動を取ると命が危険になります。私たちクリスチャンも，「邪悪な天使の勢力」と戦っています。（エフェ 6:12 **私たちは戦っている**からです。**人間とではなく，政府や権威，この闇の世の支配者**たち，**天にいる邪悪な天使の勢力**と戦っています。）それでリーダー，エホバとイエス・キリストを心から信じて付いていくことが大切です。でも，サタンはそうはさせまいとして，あの手この手を使ってきます。この記事では，サタンがずっと使ってきた常とう手段について考えます。どうすればその手に乗らないで済むでしょうか。次の記事ではさらに2つ，サタンが得意な方法を考えます。*__サタン__が**悪いこと全ての原因というわけではない**ません。でも，「**世の精神**」を**あおっているのは事実**です。**人を操って私たちを攻撃**します。そういうわけで，私たちは**みんな確かにサタンと戦っている**ます。（コリ一 2:12 私たちは，**世の精神ではなく神の聖なる力を持つ**ようになりました。そのおかげで，神が親切に与えてくださった事柄を知ることができます。ヨハ一 5:19 私たちが知っている通り，**私たちは神から出ている**ますが，**全世界は邪悪な者*の支配下にある**ます。）

サタンは，エホバとイエスへの不信感を持たせようとしてきた

3. エバがエホバを信じられなくなったのはどうしてですか。

3 サタンはアダムとエバの時代からずっと人間をだまそうとしてきました。サタンはエバにこう言いました。「あなたたちは庭園の全ての木の実を食べてはならない，と神が言ったのは本当ですか」。（創 3:1-5 さて，エホバ神が造った野生動物の中で蛇が最も用心深かった(*利口だった)。蛇が女に言った。「あなたたちは庭園の全ての木の実を食べてはならない，と神が言ったのは本当ですか」。 2 女は蛇に言った。「私たちは庭園の木の実を食べてよいのです。 3 でも，庭園の真ん中にある木の実について，神は，『食べてはならない。触れてもならない。食べたり触れたりするなら死ぬ』と言いました」。 4 蛇は女に言った。「あなたたちは決して死にません。 5 その木の実を食べた日に，目が開かれ，あなたたちが神のようになって善悪を知るようになることを神は知っているのです」。）こんなふうに言って，エホバって実はけちで理不尽なんだと思い込ませようとしました。もちろんこれはうそでしたが，アダムとエバはエホバを裏切ってしまいました。（創 3:6 そこで女がその木を見ると，おいしそうな実が付いていて，魅力的な美しい木に見えた。それで女はその木の実を取って食べ始めた。その後，一緒にいた時に夫にも渡した。夫もそれを食べ始めた。）

4. サタンはヨブに，エホバについての間違ったイメージを持たせようとしました。どんなふうにですか。

4 サタンはヨブのことも攻撃しました。3 人の友たちを使って，エホバはヨブを愛していないし，どんなに頑張ったって振り向いてはくれないと思わせようとしました。（ヨブ 22:1-3 テマン人エリパズはそれを聞いて言った。 2 「**人は神の役に立てるだろうか。** 洞察力がある人は神の力になれるだろうか。 3 全能者は**あなたが正しい人であることを気に掛ける(*喜ぶ)**だろうか。 あなたが**忠誠を尽くしたとして，神に何の得が**あるだろう。）そして，いろんなつらい目に遭わせてエホバとの友情を捨てさせようとしました。でも，ヨブはその手に乗りませんでした。サタンがどれだけ必死に攻撃してもエホバから離れませんでした。（ヨブ 27:1 ヨブは話を続けて言った。，5 **あなた方を正しいと認める**など私には**考えられない！** 私は**死ぬまで忠誠を貫く(*忠誠心を捨てない)！**）

5. サタンはどうやってイエスの評判を下げようとしましたか。（マタイ 11:19）

5 サタンは懲りません。1 世紀，イエスが現れてからも，イエスがみんなの人気を集めないようにイメージを悪くしようとしました。宗教指導者たちを使って，イエスの間違ったうわさを広めました。たくさんの人がその話をうのみにし，イエスは最後には犯罪者として処刑されてしまいます。（マタイ 11:19 人の子が来て食べたり飲んだりすると，**『見ろ，大食いで，大酒飲みの男，徴税人や罪人たちの仲間だ』**と言います。しかし，**知恵は行動によって明らかに**なります」。を読む。27:27-31 それから，総督の兵士たちはイエスを総督の邸宅内に連れていき，全部隊をイエスの周りに集めた。 28 そして，イエスの服を剝ぎ取って緋色の衣をまとわせ， 29 いばらで冠を編んでかぶらせ，アシを右手に持たせた。そしてイエスの前にひざまずき，あざけって，「ごあいさつ申し上げます，ユダヤ人の王よ！」と言った。 30 それから唾を掛け，そのアシを取って頭をたたき始めた。 31 最後に，あざけってから，緋色の衣を剝ぎ取って本人の外衣を着せ，杭にくぎ付けにするために引いていった。**マル 14:55，56 一方，祭司長たちとサンヘドリン全体は，イエスを死刑にするため，イエスに不利な証言を探していたが，見つけられなかった。 56 大勢の人が**

イエスに不利な偽証をしていたが，その証言は一致していなかったのである。ヨハ 8:41-45 あなた方は自分たちの父に倣って行動しています」。その人たちは言った。「私たちは姦淫によって生まれたのではありません。私たちにはひとりの父，神がいます」。 42 イエスは言った。「もし神があなた方の父なら，あなた方は私を愛するはずです。私は神のもとから来てここにいるからです。自分の考えで来たのではなく，その方に遣わされました。 43 私が言っていることをあなた方が理解できないのはなぜでしょうか。それは，私の教えを受け入れようとしないからです。 44 あなた方は，あなた方の父，悪魔から出ていて，自分たちの父が欲することを行おうとしています。その者はその始まりから人殺しで，真理から離れました。真理を好まないからです。彼にとって，うそを語るのは自然なことです。うそつきで，うその根源(d*父)だからです。 45 しかし，私は真理を告げるので，あなた方は私を信じません。）

6-7. サタンはどうやってイエスの弟子たちを攻撃しましたか。

6 イエスの死後，サタンはイエスの弟子たちに目を付けました。まず，そもそも本当にイエスが生き返ったかどうかは怪しい，と思わせようとしました。そのために，弟子たちがイエスの死体を盗んだというデマを広めます。（マタ 28:11-15 女性たちが向かっている間に，警備隊の何人かが町に入り，起きたこと全てを祭司長たちに報告した。 12 祭司長たちは，長老たちと集まって協議した後，かなりの枚数の銀を兵士たちに与えて， 13 こう言った。「『夜中に彼の弟子たちが来て，私たちが眠っている間に死体を盗んだ』と言え。 14 もしこれが総督の耳に入ったら，私たちが説明する(*説得する)から，心配しなくてよい」。 15 兵士たちは銀を受け取り，指示された通りにした。それで，この話が今日までユダヤ人の間に広まっている。）さらに，迫害を起こして，弟子たちの意気をくじこうとしました。こんな反対がある中でイエスから任された仕事をやり遂げるなんて，到底無理だと思わせようとしたわけです。（使徒 7:57–8:1 すると彼らは力の限り叫び，手を耳に当て，彼に向かって一斉に突進した。 58 そして町の外に追い出した後，石打ちにし始めた。ステファノを訴えた証人たちは外衣をサウロという若者の足元に置いた。 59 そして石を投げ続けた。ステファノは，「主イエス，私の命を受け取ってください」と訴えた。 60 それからひざまずき，強い声で，「エホバ，この罪を彼らに負わせないでください」と叫んだ。そう言ってから，死の眠りに就いた。8 サウロは，ステファノの殺害に賛成していた。 その日，エルサレムの会衆に対して激しい迫害が始まった。使徒たち以外は全員，ユダヤとサマリアの全域に散らされた。; 12:1-3 その頃，ヘロデ王は会衆のある人たちを虐待し始め， 2 ヨハネの兄弟ヤコブを剣で殺した。 3 それがユダヤ人に喜ばれるのを見て，さらにペテロも捕らえようとした。（それは無酵母パンの時期だった。）; 28:22 でも，あなたの考えをあなたから聞くのがいいと思います。この一派については，各地で反対に遭っていることを知っているからです」。）

7 当時のクリスチャンの中には，迫害を受けてエホバと距離を置いてしまった人たちがいます。でも，ほとんどのクリスチャンは，本当の敵はサタンと邪悪な天使だと見抜いていました。それで一歩も引かずに熱い心で伝道を続けられました。（使徒 4:18-20 そして 2 人を呼び，イエスの名によって何も言ったり教えたりしてはならないと命じた。 19 しかし，ペテロとヨハネはこう答えた。「神よりもあなた方の言うことを聞く方が，神から見て正しいことなのかどうかは，自分たちで判断してください。 20 しかし，私たちとしては，見聞きしたことについて話すのをやめるわ

けにはいきません」。ペテ一 5:8 頭がさえた状態(*鋭敏な感覚/冷静さ)を保ち，油断なく見張ってください。**敵である悪魔**が，**ほえるライオンのように歩き回って，誰かをむさぼり食おうとして**(*むさぼり食おうと探して)います。）では次に，サタンが今の私たちに**どんな手口**を使ってくるのか考えましょう。

サタンは，エホバとイエスへの不信感を持たせようとしている

8. サタンは，エホバとイエスについてのうそを広めるためにどんなことをしていますか。

8 今サタンは，エホバとイエスについて本当のことを隠すという手を使っています。「うその根源」サタンは，間違った宗教を使ってデマを世界中に広めています。（ヨハ 8:44 あなた方は，あなた方の父，悪魔から出ていて，自分たちの父が欲することを行おうとしています。その者はその始まりから人殺しで，真理から離れました。真理を好まないからです。彼にとって，うそを語るのは自然なことです。うそつきで，うその根源(d*父)だからです。）例えば，エホバとイエスがどんな方か曖昧にしています。（コリ二 4:3，4 もし私たちが広める良い知らせにベールが掛かっているとすれば，それは，滅びようとしている人たちにとってベールが掛かっているということです。 4 今の体制の神が，信仰のない人たちの思考を遮り(*心の目をくらまし)，神に似た者であるキリストについての素晴らしい良い知らせの光が輝き渡らないようにしているのです。）教会の中には，父と子が同等だと教えているところがあります。それで，多くの人はイエスを崇拝し，イエスの父である神のことを全く知りません。もちろん，エホバとイエスはそういう崇拝を**嫌って**います。（マタ 4:10 その時，イエスは言った。「離れ去れ，サタン！『あなたが崇拝すべきなのはエホバ神であり，この方だけに神聖な奉仕をしなければならない』と書いてあるのです」。ヨハ 4:23 とはいえ，**真の崇拝者**が**聖なる力と真理に導かれて父を崇拝する時**が来ます。**今がその時**です。実際，**父は，自分をそのように崇拝する人たちを求めて**います。）サタンのデマが世界中に広まっているせいで，私たちが一生懸命伝道しても聞こうとしない人や反対する人がいます。

9. サタンはみんなをエホバから遠ざけたいと思っています。そのためにどんなことをしてきましたか。（エレミヤ 23:26，27）

9 誰かと友達になりたいと思ったら，まず名前を聞くんじゃないでしょうか。神との友情も同じです。聖書によると，神の名前を知る人は神に愛され，守られます。サタンは絶対にそうなってほしくないと思って，偽の宗教を使って神の名前を隠してきました。（エレミヤ 23:26，27 この預言者たちはいつまで心の中で偽りの預言をし続けるのか。彼らは自分たちの心のたくらみ(*欺き)を預言している。 27 彼らの父祖たちがバアルのゆえに私の名を忘れたように，彼らは見た夢について語り合うことによって私の民に私の名を忘れさせようとしている。を読む。）例えば，いろんな翻訳聖書から神の名前を取り除いてきました。（格 18:10 エホバの名は強固な塔。 正しい人はその中に走り込んで保護される(d*高く上げられる/c 手が届かない，安全ということ)。）さらに，世の中で起きている悪いことは神のせいだ，というそを広めてもきました。そのせいで，たくさんの人は神を知り愛するどころか，神を信じられなくなっています。（ヤコ 4:8 神に近づいてください。そうすれば，神は近づいてくださいます。罪人たち，手を清めてください。優柔

不断な人たち，心を清めてください。）サタンは，すでにエホバと友達になっている私たちにも，エホバのことを嫌いにならせたいと思っています。

10. どういう時，エホバへのイライラを募らせてしまうかもしれませんか。

10 サタンはエホバに仕えるのをやめさせようとしてきます。特に，私たちが問題にぶつかる時を狙ってきます。そういう時，「こんな苦しい目に遭うのはエホバのせいだ。エホバは気遣ってなんかくれていない。エホバの基準に沿って生きてもいいことなんて何もない」と思わせようとしてきます。こんなふうに感じると，だんだんイライラが募ってきて，エホバに仕える気力がそがれていきます。これがサタンの狙いです。（格 19:3 人は自分の愚かさによって道を誤り，その人の心はエホバに対して激怒する。）

11. サタンは，エホバの言う通りに生きても楽しくないと思わせようとしてきます。どうやってですか。（写真も参照。）

11 エホバは私たちに，何がいいことで何が悪いことなのかを教え，生き方の指針を示してくれています。サタンは「エホバの言う通りに生きたって楽しくない」と思わせようとしてきます。そのために SNS を使います。そこには，聖書は時代遅れだとか，自分のやりたいように生きていけばいいという風潮があふれています。そういうものにずっとさらされていると，エホバが言っている通りにしようという気持ちが弱くなっていきます。（ヨハ 14:30 私はもうあなたたちと多くは語りません。世の支配者が来ようとしているからです。もっとも，その者は私に対して何の力もありません。イザ 5:20 善を悪と言い，悪を善と言う人たち，闇を光とし，光を闇とする人たち，苦いものを甘いとし，甘いものを苦いとする人たちには災いがある！。テモ一 4:1，2 神からの言葉は次のことを明らかにしています。後の時代にある人たちは信仰を捨て，神からのものに思える偽りの言葉や，邪悪な天使の教えに注意を向けるようになります。2 偽善者たちの語る偽りに惑わされるのです。その偽善者たちの良心は，焼き印を押された皮膚のようにまひしています



サタンはいろんなコンテンツを使って，
エホバの言う通りにしても楽しくないと思わせようとしてくる。
（11 節を参照）

12. サタンの手に乗るとどうなってしまうかもしれませんか。

12 サタンの手に乗ると，エホバから離れてしまうかもしれません。若いシャノン姉妹はこう言っています。「気付かないうちに学校で学ぶこととか，周りの人たちから影響を受けていました。エホバから見て，いいことと悪いことがどんなことか，だんだん分からなくなっていきました。特に SNS にはまっていました。みんなの投稿をずっと見てると，『この人たち楽しそうだな。自分もこんなふうになりたい』っていう気持ちになってきます。それで，エホバの言う通りにして

も楽しくない，と思うようになりました。家族とか兄弟姉妹からも距離を置くようになりました」。でも，シャノンはその後，正しい道に戻れました。どうしてそうできたんでしょうか。

13. シャノン姉妹が経験したことから，どんなことを学べますか。

13 やがて，シャノンは前のようにエホバとイエスと仲良くなりたいと思うようになりました。こう言っています。「祈って，いろいろ資料を調べました。『若い人は尋ねる — どうすれば本当の友達ができるだろうか』のドラマに背中を押されました。*jw.org の「若い人」のページで，エホバや仲間との友情を強くするのに役立つ資料をいろいろ見つけられます。*JW Library*®の「若い人は尋ねる」のシリーズ記事も参考になります。主人公の女の子は，私と同じような経験をしていました。自分で何とかしようとせずに，**周りの人に助けてもらっている**のを見て，はっとしました。私も同じようにしたいと思って，親や長老，経験を積んだ姉妹に助けてもらって，学校の友達との付き合い方で線を引くことができました。エホバの証人として生きるとはどういうことかを学びました。ただ集会に行くとか，親の宗教だからやるっていうわけじゃないんですね。自分で納得してエホバに仕えること，エホバとの距離をどんどん縮めていくことが大事です」。

エホバとイエスとの友情を信じ続ける

14. サタンに勝つコツは何ですか。（写真も参照。）

14 私たちはどれだけサタンから攻撃されても，エホバとの友情を守りたいと思います。（ヤコ 4:4 不忠実な人たち(d*姦淫をした女性たち)，世との交友は神との敵対であることを知らないのですか。世の友になろうとする人は，神の敵になろうとしているのです。）そのために大事なのは，誰と友達になるかということと，取り入れる情報に注意することです。エホバを愛している人との友情を大事にしたいですね。さらに，今の世の中には間違った情報やうそがあふれています。そういうものを信じてしまうのではなく，聖書を読んだり，エホバの証人が準備している資料を読んだりして，本当の情報を取り入れるようにしましょう。そんなふうにしていると，エホバをもっともっと信頼できるようになっていきます。（格 13:20 **賢い人たちと共に歩む**と**賢く**なり，**愚かな人たちと関わり合う**と**苦しい目に**遭う。使徒 17:11 ここの人たちはテサロニケの人たちより心が広く，**神の言葉を非常に意欲的に受け入れ**，聞いたことが**その通りかどうか**と**聖書を毎日注意深く調べ**た。）



エホバとの友情を守るために努力すると，
サタンの手に乗らずに済む。（14 節を参照）

15. どうすればエホバとイエスが**親友**だと心から思えますか。

15 聖書を読んでよく考えると，「**エホバとイエスは最高の親友**だ。困った時はいつも頼ろう」という気持ちになれます。（格 22:19 あなたがエホバを信頼するために，私は今日あなたに知識を与える。）2 人の愛がひしひしと伝わってくるからです。例えば，エホバが私たちを思う気持ちは，母親がわが子を思う気持ちよりはるかに強いです。（イザ 49:15 女性が自分の乳を飲ませている子を忘れたり，自分が産んだ子を思いやらなかったりするだろうか。たとえ女性たちが忘れたとしても，私があなたを忘れることは決してない。）また，エホバの名前を大切に思う人は，エホバにとって「宝のような所有物」だとあります。エホバにとって私たちは宝物なんです。（マラ 3:16，17 その時，エホバを畏れる人たちが仲間と語り合っていた。エホバはじっと耳を傾けていた。エホバを畏れる人と神の名について思い巡らす(*考える/if を大切にする)人のために，神の前で記録の書(*覚えておくための書)が記された。 17 大軍を率いるエホバは言う。「私が特別な(*宝のような)所有物を生み出す日，**彼らは私のもの**となる。**親が従順な子供を思いやるように，私は彼らを思いやる**←脚注）イエスも，私たちのために命を犠牲にしてくれました。それほどまでに私たちを愛しているということです。（ヨハ 15:12，13 私があなたたちを愛した通りにあなたたちが互いを愛すること，これが私のおきてです。 13 **友のために自分の命をなげうつこと，これより大きな愛は**ありません。）

16. **エホバが助けてくれた経験**を思い出したり，語り合ったりするのは大切です。どうしてですか。（詩編 118:5，6）

16 エホバとイエスが自分を助けてくれたという経験をしみじみ思い返すのも力になります。そういう思い出を大事にして，時々取り出してみましょう。兄弟姉妹にも「エホバのサポートを感じた思い出がありますか」と尋ねてみてください。（格 22:17 耳を傾けて賢い人たちの言葉を聞け。私の知識を心から受け入れるためである。）そうやって語り合っていると，「やっぱりエホバとイエスはいつも味方でいてくれる。この先何があっても大丈夫だ」と信じられるようになります。（詩編 118:5，6 苦難の時に私はヤハ(c*エホバの短縮形)に呼び掛けた。ヤハは答え，私を安全な(*広い)場所に連れていってくださった。 6 エホバは私の側にいてくださる。私は恐れない。人が私に何を行えるだろう。を読む。）

17. ヨハネ 10 章 29 節のイエスの言葉からどんなことが分かりますか。

17 私たちはこれからもずっと，いつまでもエホバとイエスの友達でいたいと思います。そのためには，サタンと邪悪な天使たちが滅ぼされる時まで戦い続けないといけません。必死になって私たちを攻撃し，エホバのことを嫌いにならせようとしているからです。（啓 20:1-3 私がさらに見ていると，底知れぬ深みの鍵と大きな鎖を持った天使が天から下ってきた。 2 その天使は，あの初めの蛇である竜，悪魔サタンを捕らえて，1000 年間動けないように縛った。 3 そして竜を底知れぬ深みに投げ込み，そこを閉じて封印し，1000 年が終わるまで竜がもはや人々を惑わさないようにした。その後，竜はしばらくの間解放されることになる，10 そして，人々を惑わしていた悪魔は火と硫黄の湖に投げ込まれた。そこにはすでに野獣と偽預言者もおり，彼らは永久に昼も夜も苦しめられる(*拘束される/c 啓 14:11 の脚注参照)。）それで，これからもサタンに負けないように，エホバとの友情を強くしていきましょう。エホバとイエスが愛してくれていること，いつ

も味方でいてくれることを信じて疑わないでください。そうすれば，イエスが言った通り，「誰も父の手から[あなた]を奪うことはできません」。（ヨハネ 10:29 **天の父が私に与えてくださった羊は，ほかの全てのものより大切**であり，**誰も父の手からそれを奪うことは**できません。を読む。ヤコ 4:7 ですから，**神に従って**ください。**悪魔に立ち向かって**ください。そうすれば，**悪魔は逃げ去り**ます。）

18. 次の記事ではどんなことを考えますか。

18 次の記事では，サタンのやり口をもう 2 つ考えます。①会衆を中からかき乱すことと，②外から攻撃することです。どうやって立ち向かえるかを考えていきましょう。

振り返ってみましょう

１．サタンは過去に、エホバとイエスへの不信感を持たせようとしてきました。どうやって？
・S03　サタンはアダムとエバの時代からずっと人間をだまそうとし、エホバって実はけちで理不尽だと思い込ませようとし、うそをついて、**アダムとエバ**がエホバを裏切るようにさせた。
・S04　サタンは**ヨブ**のことも 3 人の友たちを使って攻撃し、エホバはヨブを愛していないし、どんなに頑張ったって振り向いてはくれないと思わせようとした。
・S05　1 世紀、宗教指導者たちを使って、**イエス**の間違ったうわさを広め、たくさんの人がその話をうのみにした。
・S06　イエスの死後、サタンは**イエスの弟子たち**に目を付け、そもそも本当にイエスが生き返ったかどうかは怪しい、と思わせようとした。さらに迫害を起こして、弟子たちの意気をくじこうとし、こんな反対がある中でイエスから任された仕事をやり遂げるなんて到底無理だと思わせようとした。

２．サタンは今も、エホバとイエスへの不信感を持たせようとしてきます。どうやってですか。
・S08　エホバとイエスについて本当のことを隠すという手を使い、間違った宗教を使ってデマを世界中に広めている。例えば、エホバとイエスがどんな方か曖昧にして、イエスを神として崇拝させようとしている。
・S09　神との友情を築けないように、偽の宗教を使って神の名前を隠したり、世の中で起きている悪いことは神のせいだ、というそを広めてもきた。
・S10　すでにエホバと友達になっている私たちにもエホバのことを嫌いにならせ、エホバに仕えるのをやめさせようとしてきた。特に、私たちが問題にぶつかる時を狙ってイライラが募らせ、エホバに仕える気力がそがれるようにしてきた。
・S11　SNS を使い、聖書にあるエホバの生き方の指針は時代遅れだとか、自分のやりたいように生きていけばいいという風潮をあふさせている。

３．エホバとイエスは絶対に裏切らないと信じられるのはどうしてですか。
・S15　エホバは、ご自分の名前を大切に思う人は、ご自分にとって「宝のような所有物」であることを明示された。イエスも、私たちのために命を犠牲にして、それほどまでに私たちへの愛を示してくださった。
・S16　エホバとイエスが自分を助けてくれたという経験を思い返すことができる。

150 番の歌 救いのために神に頼る